



みくびだより

発行 御首神社社務所

御挨拶

拝啓 皆様にかかれましては、益々清祥のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止の為取り止めとなっておりました両陛下のお出ましが、初の海外訪問として九月十九日のエリザベス女王の御葬儀にご参列されるために成されました。慣例では皇族が出席されるのが常でございますが、昭和天皇から三代続くご交流を踏まえられた両陛下のご希望によりご臨席なされました。慣例に囚われる事の無い、新しい時代に沿ったお姿が心強く思われます。

又、国内では十月二十二・二十三日に沖繩の美ら島おきなわ文化祭の開会式に御出席あそばされました。戦後の米国統治下で苦難の道を歩んで来た沖繩県民を労いたいと仰せられておりました昭和天皇や上皇陛下のご意志を受け継がれたものであり、国民を想い国民に寄添う皇室のお姿は平成を経た令和にも受け継がれております。

さて、今年「神宮大麻」の全国頒布が行われるようになってから百五十年の節目になります。明治五年に明治天皇の聖慮により、国家・公共的な位置付けの下で全国頒布が始まりました。この間の先人達の想い・尽力を顧みながら現在も各地の氏神社を通じ「神宮大麻」が各戸に頒布されております。(詳しくは四ページに記載)

皆様方に於かれましては新年を迎えるに当り是非とも神宮大麻と氏神神符、加えて御首神符をお祀りされます事をお勧め申し上げます。

皆様が御首の大神様の御神徳を拝受なされ、清々しい新春を迎えられます様お祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。

敬具

宮司 三浦 篤

祭事報告

▼末廣稻荷神社例祭

八月七日



京都の伏見稻荷大社より御分霊を賜り、宇迦之御魂神をお祀りし、当神社境内の東に鎮座しております末廣稻荷神社の例祭を滞りなく斎行致しました。

新型コロナウイルスは落ち着きを見せるどころか、七月の半ばより県内の感染者数が四桁に上る状況が続いており、本年も縮小規模にて執り行いました。

そして、数十名の有志の氏子子供たちによるイラスト行灯が奉納され、稻荷神社参道に掲げられました。

▼夏越大祓

八月七日

上半期に、皆様が知らず知らず受け犯した罪穢れを託されました人形（ひとがた）を、忌火にて焼き上げ致しました。

本年は、申込みの人形を従来の方法（一人一枚）に戻しましたが、感染予防の観点から、身体を撫でて息を吹きかけるといふ行為は取り止めさせて頂きました。お申込みの皆様にご協力頂き、神事を恙無く斎行する事が出来ました。



そして本年も、参拝者の密を避けるため、茅の輪くぐりを朝から可能とし、神事では一度に茅の輪をくぐる人数を制限し、数回に分ける配慮を致しました。

▼長寿祈願祭

九月十五日

昨年は、岐阜県に緊急事態宣言が出ておりましたので、長寿会「かがやきクラブ」の関係者の参列はご遠慮頂きましたが、本年は長寿会を代表して十余名のご参列を賜り、長寿会の皆様のご健康長寿を祈り、無事に斎行致しました。

▼神明神社例祭

十月十七日

本殿の北西に鎮座し、天照大御神をお祀りする神明神社の例祭をお仕え致しました。

本年は、例祭当日が生憎の天気でございましたので、廊下踊り場より神明神社を遥拝する形で斎行致しました。

▼崇敬会大祭

十一月三日

本年の崇敬会大祭は、三年ぶりに会員の皆様のご参列を賜り斎行致しました。

尚、神事につきましては新型コロナウイルス感染予防を考えて行事を縮小して行いました。



神事終了後には、ご参列頂きました会員の方へ大祭祈祷神符と記念品を授与し、崇敬会大祭をお納め致しました。

崇敬会にご入会の皆様には、この大祭への参列や、年に一度神宮（伊勢）への日帰り研修旅行等もご案内致しております。詳しくは六頁の崇敬会入会のご案内をご覧ください。

▼新嘗祭

十一月二十三日

新嘗祭は、古来より例祭・祈年祭と並ぶ重要な神事(三大祭)として行われてきました。



当社に於きましても、境内の御神饌田にて育てた初穂を神さまに召し上がって頂き、五穀豊穣への感謝と共に、皇室の安寧及び国家の安泰を祈願申し上げました。

尚、ご神前に供えられた初穂は後に一粒一粒取り分けて、ご祈祷のお下がりとしてお頒ち致しております。

▼七五三参り

十一月中

七五三参りは、男の子が三歳と五歳・女の子が三歳と七歳でお参りする事は広く知られておりますが、近年では男女共に三歳・五歳・七歳でのお参りも増えております。

本年も十月の中頃より、七五三参りの参拝者が訪れ始め、十一月に入るといよいよピークを迎えました。特に、十一月十五日に近い土曜日・日曜日(十二日・十三日)には、多くのご家族が御祈祷をお受けになられました。また境内は、拝殿前や参拝記念看板の前などで、華やかに着飾ったお子様たちの写真撮影をするご家族で、終日賑わいを見せておりました。

諸祭典(抜粋)

▼西宮神社例祭 七月十七日

▼月次祭 毎月一日・二十日
滞りなく斎行致しました。

ご奉納頂きました

▽海津市南濃町にお住まいの、中村とみ子様よりご寄付を賜り、長年に渡る神事や御祈祷奉仕により、摺れや解れなどが出ておりました、冬用の「狩衣」を新調させて頂きました。

この場を借りまして、改めて御礼申し上げます。



尚、新しい狩衣は、新年を迎えて最初の神事である元旦祭より着装させて頂きます。職員一同、新しい狩衣と共に心新たに

神明奉仕に励んでまいる所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

※写真では一領のみですが、職員分の六領を新調させて頂きました。

▽崇敬会より、以下ご奉納頂きました。

一、神前特大幟一对



一、末廣稻荷神社幟二対



以上、ご奉納ありがとうございます。

『神宮大麻頒布』

「神宮（伊勢神宮）」の御神符を「神宮大麻（じんぐうたいま）」と称しますが、皆様はご存知でしょうか？

一言で神宮と言いましても、皇大神宮（内宮）と豊受大神宮（外宮）があり、神宮大麻は皇大神宮のお札（天照大御神）に該当します。全国の多くの神社で授与されており、当社に於きましても、神宮大麻と御首神符と御首神社木札の三種のお札を授与しております。

当社で神宮大麻をお受けになられる参拝者から、神宮以外の神社で神宮大麻を受けた場合、御神徳に違いが在るのか？とお尋ね頂く事も少なくありませんが、答えは「同じ」です。神宮で奉製された神宮大麻が全国の神社に届けられて授与されているので、どの神社で受けても同じお札です。また、神宮大麻の初穂料もそのまま神宮へ納めております。

では、なぜに全国の神社で神宮大麻が頒布されているのでしょうか？

神宮大麻は、江戸時代までは「御師」と呼ばれる伊勢の師職が「御祓大麻」を奉製・お祓いをして、全国の崇敬者へ頒布をしておりました。明治時代になると、御師制度が廃止され、大麻の全国への頒布も途絶えてしまいました。

そして明治五年、明治天皇の思召しにより、神宮が神宮大麻を直接奉製し神宮の関係団体により全国頒布が行われるようになったのです。しかしながら、この頃は現在のように全国の神社での頒布はまだ行われておらず、地方庁の支援のもと、各郡村区戸長を経て各家庭へと頒布されておりました。

明治の終わり頃、全国神職会が設立されると、神宮大麻頒布のあり方について議論され、頒布の神聖性が求められるようになりました。そして、頒布を神聖に行う為には神社に託し、神職を通じて行った方が良いので

はと意見が纏められました。設立間もない神職会に頒布を委ねる事は心許ないと判断された為、神職による頒布は直ぐには叶いませんでした。

その後、神職会は地方神職団体の充実化と連携の強化が図られ、大正十五年に財団法人化されました。そして昭和二年、神宮神部署（それまで頒布活動を行っていた中心部署）の廃止に伴い、神宮大麻頒布は道府県神職団体に委託され、現在のように、氏神社を通して授与が行われるようになりました。

因みに本年は、神宮大麻の全国頒布開始より『百五十年』の節目の年となります！

皆様も氏神様の御札と共に神宮大麻をお受けになられ、日々の感謝と祈りを捧げ、生活の平穏を願いましょう。



崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか：：」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させて頂きまます。

会員の特典（抜粋）

- ・ 入会報告祭の実施
- ・ 誕生特別祈禱の実施及び祈禱神符の授与
- ・ 主要祭典のご案内
- ・ 昇殿参拝

会員の種類と年会費

個人	三千円
家族	五千円
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

〈お問い合わせ先〉
神社社務所まで
〇五八四一九一―三七〇〇

祭事案内

▼年越大祓

十二月三十日



夏越大祓とは異なり、茅の輪くぐりはございません。

神職全員が拝殿にて大祓詞を奏上致した後、皆様が罪穢れを託されました人形（ひとがた）を忌火にてお焚き上げ致します。人形と申し込み封筒（右の写真）は社頭にご用意しておりますので、必要事項をご記入の上、申し込み封筒にお志と共に納め、社務所にお申し込み下さい。

ご不明な点は社務所にてお尋ね下さい。

▼左義長

一月十五日

一年間ご守護戴きましたご神札や御守り又神棚の注連縄やお正月の注連飾りを忌み火にて焚き上げます。

但し、注連縄・注連飾りのお持込みは、当日の午前中に限り受け付け致しますので、事前のお持込や、焚き上げ終了後のお持込はお断りさせて頂きます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

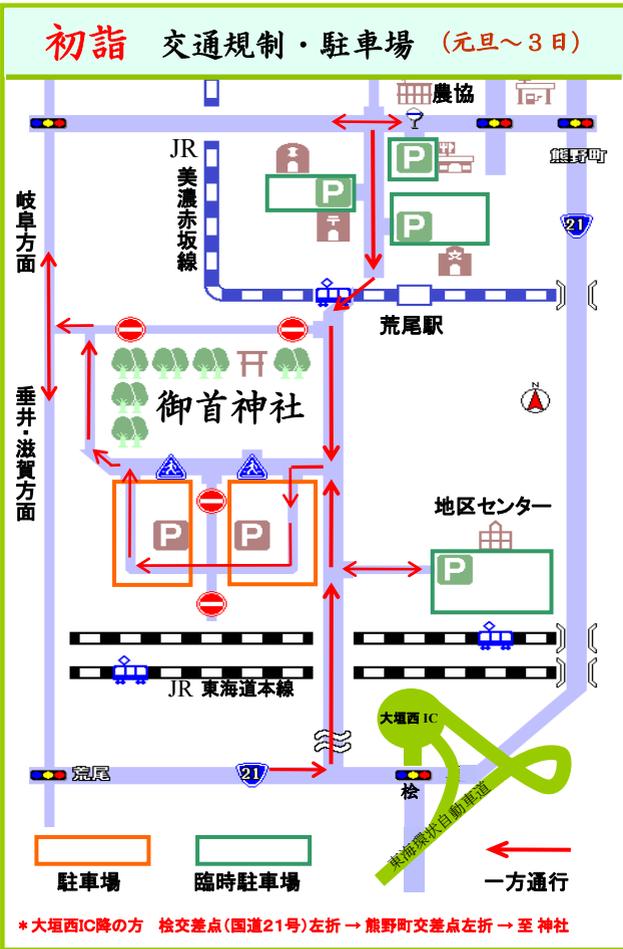
▼浄火祭

二月三日

境内に作られた大きな火炉前にて、斎行致します。

皆様が祈願奉納されました金幣串や絵馬・帽子などをお焚き上げし、心願成就・厄祓いを願います。

尚、神事終了後にご持参の帽子の焚き上げが可能となりますので、帽子をお持ちになりご参拝下さい。（焚き上げは午前中終了します）



* 大垣西IC降の方 検交差点(国道21号)左折→熊野町交差点左折→至神社

令和5年 八方ふさがり早見表

8年生	昭和	8年生
17年生		17年生
26年生		26年生
35年生		35年生
44年生		44年生
53年生	平成	8年生
62年生		17年生
26年生		26年生

（抜粋）

ご祈禱をお受けになり
健康な毎日を
過ごしましょう

令和5年 年祝い早見表(数え歳)

古稀	70歳	昭和 29年生
喜寿	77歳	昭和 22年生
傘寿	80歳	昭和 19年生
米寿	88歳	昭和 11年生
卒寿	90歳	昭和 9年生
白寿	99歳	大正 14年生

年祝いの皆さん

八方ふさがりの
皆さん

新年 授与品・縁起物

大きき凡そ
正月限定・二十体限定の御守です。



特大開運御守

初穂料三〇〇〇円



祈願絵馬

初穂料五〇〇円



さくら鈴

初穂料五〇〇円



開運親子土鈴

初穂料一五〇〇円

諸祭典(抜粋)

- ▼ 月次祭 毎月一日・二十日
- ▼ 元旦祭 一月一日
- ▼ 祈年祭 二月十二日
- ▼ 鍬山神社例祭 三月十七日
- ▼ 例大祭 四月二日
- ▼ 南宮神社例祭 五月四日
- ▼ お田植え祭 六月上旬
- ▼ 農休祭 六月中旬

祭事案内

令和五年 初祈禱のご案内



初祈禱は、元旦祭
終了後(元旦午前零
時半頃)よりお仕え
いたしております。

毎年、多数の皆様が我先にと御
祈禱(家内安全・商売繁盛・各種
受験合格・病氣平癒祈願など)を
お受けになられております。
輝かしい年の初めに、ご家族お
揃いでお参り下さい。

正月御供 鏡餅料 受付中です

正月御供(一月初旬迄受付)

- ・御供料
- ・酒類・お餅・米・野菜・果物
- ・菓子など

鏡餅料(十二月末迄受付)



・正月三日間、鏡餅を御神前に
お供えいたしま
す。千円以上
のお申込となつて
おります。

*お下がりが授与されます。
*郵送・書留等による申込受付中。
詳細は社務所まで。

令和5年 厄年表(数え歳)

	歳	前厄	本厄	後厄
男	61歳	昭和39年生	昭和38年生	昭和37年生
	42歳	昭和58年生	昭和57年生	昭和56年生
	25歳	平成12年生	平成11年生	平成10年生

	歳	前厄	本厄	後厄
女	37歳	昭和63年生	昭和62年生	昭和61年生
	33歳	平成4年生	平成3年生	平成2年生
	19歳	平成18年生	平成17年生	平成16年生

編集部より一言
今号の神職への質問Q&Aは
紙面構成の都合により、休載さ
せて頂きました。

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一二八三の一
Eメール syamusyo@mikubi.or.jp
TEL(〇五八四)九一―三七〇〇